

平成30年度は下記の事業にふるさと納税寄附金を充当しましたのでご紹介します。

移住・定住促進

- ・若者定住促進住宅取得補助事業（充当額 1,210万円）

若者の移住・定住促進対策や人口減少対策の一環として、町内に定住を希望し、住宅を取得する若者夫婦世帯に対し、最大150万円の補助金を交付しました。

充当額	1,210万円
対象	夫婦とも40歳未満（当町に5年以上居住する方）
内容	基本額70万円 町内業者新築50万円加算 中学生以下子どもひとりあたり10万円加算（30万円限度）

- ・空き家活用支援補助事業（充当額 2.2万円）

空き家の対策と、定住人口の増加を目的として、空き家バンク登録物件を取得または賃借する利用者に対し、改修費用、家賃の一部を補助しました。

充当額	2.2万円
対象	空き家バンク登録物件定住者
内容	改修工事費の20%（20万円限度） 住宅取得対価の3%以内（30万円限度） 家賃の1/2（月3万円限度×3か月分）

- ・若者交流委託事業（充当額 84.8万円）

移住者同士及び町内出身者等との若者交流や新しいコミュニティづくりを目的として、交流の場所と機会を提供し、若い世代の長期的な移住・定住を促進しました。

充当額	84.8万円
内容	交流会の開催 若者園芸サークル事業等のサークル活動

・お試し居住事業（充当額 92.7万円）

町内への移住をご検討されている方へ、最長1か月滞在し、実際の生活を体験することで、移住への不安を解消し、前向きに移住を考えていただきます。

充当額	92.7万円
対象	東伊豆町移住希望者
内容	「お試し居住体験施設」に、最大1か月間滞在し、東伊豆町の自然、文化、地域を体感していただきました。（滞在料1日1,000円）

・空き家利活用拠点づくり事業（充当額 230.8万円）

町内に点在する空き家を有効活用するため、町、住民、学生が協同で意見を出し合い、空き家の改修と、交流人口の増加に取り組みました。

充当額	230.8万円
内容	元東海汽船事務所を学生や地域おこし協力隊が改修を行い、カフェ、展示場、ものづくり拠点など空き家利活用拠点として整備しました。

・結婚新生活支援補助事業（充当額 15万円）

結婚を機に、町内へ引っ越しをされた新婚夫婦を対象に、居住費及び引っ越し費用として、補助金を支給しました。

充当額	15万円
対象	結婚を機に東伊豆町へ引っ越しをした34歳以下の新婚夫婦
内容	居住費、引越費用の補助（最大30万円）

出産・子育て支援

- ・ 保育料多子軽減事業（充当額 344.8万円）

多子（子どもが3人以上）世帯の保育料負担軽減のため、第3子以降の子の保育料を半額とし、減額分をふるさと納税で補いました。

充当額	344.8万円
対象	第3子以降の子をもつ保護者
内容	第3子以降の子の保育料を半額としました。

- ・ 子育て用具購入費補助事業（充当額 26万円）

町内の子育て世代の出産、育児を支援するため、チャイルドシートまたはベビーカーの購入費用を補助しました。



充当額	26万円
対象	平成27年4月1日以後に出生した子の保護者
内容	チャイルドシートまたはベビーカーの購入金額（消費税含む）の半額補助（チャイルドシートは1万円、ベビーカーは2万円を限度）

- ・子ども未来支援事業（充当額 68.2万円）

少子化対策の一環として、子どもが欲しいと望んでいるのに恵まれず、不妊治療を受けようとする夫婦の精神的・経済的負担の軽減を目的として助成を行いました。

充当額	68.2万円
対象	不妊治療をしている町内の夫婦
内容	不妊治療に要する本人負担額の1/2 (上限年額30万円及び交通費上限5万円)

環境・衛生対策

- ・東河環境センター大規模改修事業（負担金）（充当額 4,000万円）

エコクリーンセンター東河の長寿命化を目的に焼却炉2基の大規模改修を行いました。



内容	焼却炉2基の長寿命化大規模改修事業
----	-------------------

観光・商工振興

- ・ロケ誘致推進事業費補助事業（充当額 71.7万円）

東伊豆町をより多くの方に知っていただくため、テレビ、雑誌等しました。メディアの取材活動に対し、最大10万円を補助しました。



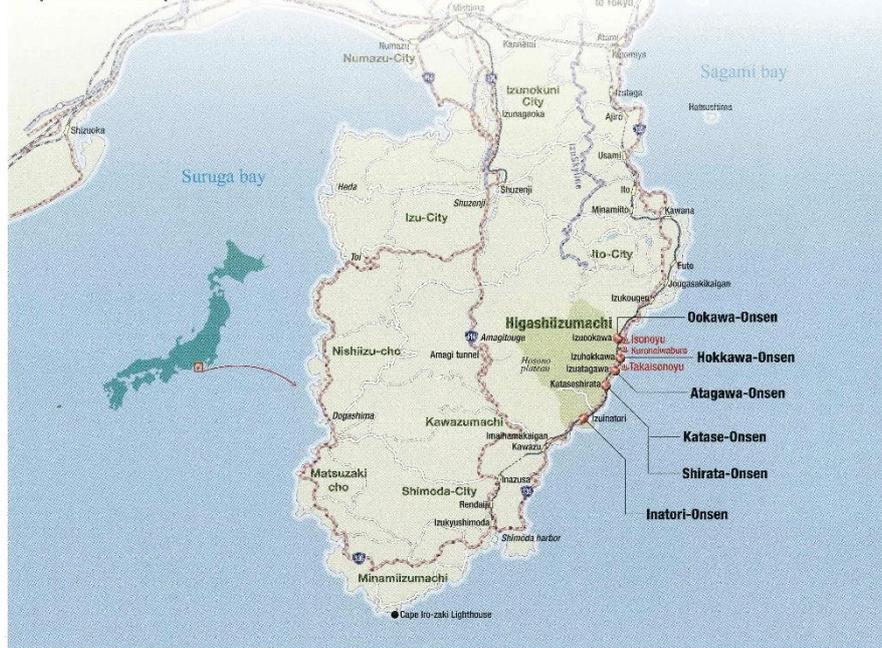
充当額	71.7万円
対象	町内で取材を行うました。メディア
内容	町内での撮影等取材に係る経費（町内消費）に対する補助 補助率1/2（10万円限度）

- ・インバウンド等対策事業補助事業（充当額 465万円）

海外からの観光客を誘致するため、モデルコースのパンフレット作製やインターネットを活用した広告、団体バスの助成等を行う費用を補助しました。

伊豆半島マップ&東伊豆アクセス

Izu peninsula map & East Izu access



電車利用の場合	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田空港 → 東京 → 熱海 → 東伊豆町 ● 羽田空港 → 品川 → 熱海 → 東伊豆町 ● 富士山静岡空港 → 静岡 → 熱海 → 東伊豆町 	約3時間半～約4時間 約2時間 約2時間
By train	<ul style="list-style-type: none"> ● Narita Airport → Tokyo → Atami → Higashizumachi ● Haneda Airport → Shinagawa → Atami → Higashizumachi ● Fujisan Shizuoka Airport → Shizuoka → Atami → Higashizumachi 	It takes about 3 hours and a half to 4 hours. It takes about 2 hours. It takes about 2 hours
乗車路線	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田空港 → 東京 → 熱海 → 東伊豆町 ● 羽田空港 → 品川 → 熱海 → 東伊豆町 ● 富士山静岡空港 → 静岡 → 熱海 → 東伊豆町 	約3時半～4小時間 約2時間 約2時間
車利用の場合	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田空港 → 東京・用賀 I.C. → 厚木 I.C. → 石橋 I.C. → 東伊豆町 ● 羽田空港 → 保土ヶ谷 JCT → 横浜 I.C. → 厚木 I.C. → 石橋 I.C. → 東伊豆町 ● 富士山静岡空港 → 沼津 → 東伊豆町 	約3時間 約3時間 約3時間
By car	<ul style="list-style-type: none"> ● Narita Airport → Tokyo・Yoga I.C. → Atsugi I.C. → Ishibashi I.C. → Higashizumachi ● Haneda Airport → Hodogaya JCT → Yokohama I.C. → Atsugi I.C. → Ishibashi I.C. → Higashizumachi ● Fujisan Shizuoka Airport → Numazu → Higashizumachi 	It takes about 3 hours. It takes about 3 hours. It takes about 3 hours.
開車路線	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田空港 → 東京・用賀 I.C. → 厚木 I.C. → 石橋 I.C. → 東伊豆町 ● 羽田空港 → 保土ヶ谷 JCT → 横浜 I.C. → 厚木 I.C. → 石橋 I.C. → 東伊豆町 ● 富士山静岡空港 → 沼津 → 東伊豆町 	約3時間 約3時間 約3時間

Higashizumachi Tourist Association TEL.0557-95-0700 <http://www.e-izu.org>

Reservation	Ookawa Onsen Tourist Association http://www.ookawa-onsen.com	Katase-Onsen Tourist Association http://www.izu-katase.jp
	Hokkawa Onsen Tourist Association TEL.0557-23-3997	Shirata-Onsen Tourist Association http://www.shirada.com
	Atagawa Onsen Tourist Association TEL.0557-23-1505	Inatori-Onsen Tourist Association TEL.0557-95-1157

充当額	465万円
内容	モデルコースのパンフレット作製やインターネットを活用した広告、団体バスの補助等

・DC推進事業補助事業（充当額 270万円）

JRディスティネーションキャンペーン（観光誘客）を推進するため、各種イベント開催費用を補助しました。



充当額	270万円
内容	イルミネーションや山菜狩り、星空観賞等のイベント開催費用補助

教育振興

・学校図書館アドバイザー配置事業（充当額 87万円）

町内小中学生の、心豊かな成長を目的に、学校図書館の環境整備および、子どもたちの読書機会増加を図るため、専門知識を有する学校図書アドバイザーを配置しました。

充当額	87万円
内容	町内に1名の学校図書館アドバイザーを配置。 各学校を巡回し、学校図書の選定、充実、普及のために活動しました。

・特別支援員（講師）配置事業（充当額 1,309.2万円）

特別な教育的支援を必要とする児童、生徒のスムーズな学習を支援するため、町内各学校に特別講師、支援員を配置しました。

充当額	1,309.2万円
内容	町内幼稚園・小・中学校に計13名の特別講師、支援員を配置

・町立体育センター改修事業（充当額 365万円）

各種体育イベントの中心施設となる町立体育センターの長寿命化を目的に大規模改修を計画しており、本年度は、その設計を行いました。



充当額	365万円
内容	町立体育センター改修工事設計業務委託（長寿命化）